

平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	都市開発部	都市施設課	都市施設担当	内線等	1332
----	-------	-------	--------	-----	------

事業コード		事務事業名	三河大塚駅前広場整備事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	市街地整備
-----------------	-------

事務事業の内容

対象	J R 三河大塚駅利用者
手段	駅前広場を拡張・整備することによって
想定する成果	交通結節点として車両及び歩行者の安全を確保し、円滑に誘導できる広場を図る。

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
	測量及び実施設計委託 6,796,650 円	整備工事費 7,502,250円 物件調査委託 2件 1,312,500	物件調査委託 2件 2,000,000円

目標値

成果指標名	整備率
成果指標の説明	整備済面積 / 整備計画面積 2,000 m ² (平成13年度は暫定整備のため 目標値(実績)は0%)

事業の進捗状況

(円)

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画	-	-	0%
	実績	0%	0%	-
事業費	事業費	6,796,650	8,814,750	2,000,000
	人件費	2,143,000	2,089,500	2,124,250
	(人数)	0.25	0.25	0.25
	合計	8,939,650	10,904,250	4,124,250
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	8,939,650	10,904,250	4,124,250

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	6	6	ラグナシア・フェスティバルマーケットの開業に対応の暫定整備は完了しており、今後は鉄道利用者数の動向に応じて対処する。
効率性	6	6	緊急対策で、限られた少ない予算の中で資材等をやりくりするなどして費用の低廉化を図り、地元要望に応える事ができた。
公共性	10	10	重要な都市施設としての整備拡充は、市が施工すべき事業である。
緊急度	10	6	駅前広場機能は、現段階で暫定対応のため、利用者数の動向によるが、JR等の協議継続。
小計	32	28	
市民参加度	6	6	地元説明会を実施し、意見を聴取した。
合計	38	34	
総合評価	B	B	暫定整備は完了しているが、今後鉄道利用者数の動向を鑑みてJR等と協議しながら、駅前広場の拡張・整備を進めて行く。

これまでに実施した改善点

達成度	緊急を要したため、暫定整備をした。
効率性	既設、在庫の資材等を有効活用し、費用の低廉化を図った。
公共性	地元の要望を十分聞き入れた。
緊急度	補正予算を編成して事業執行をした。
市民参加度	地元説明会を行ない、意見を聴取した。

今後の改善すべき点

達成度	JR東海・公安委員会と協議しながら、事業進捗を図る。
効率性	状況に応じた整備を行なう。
公共性	
緊急度	
市民参加度	現状を理解してもらうため、地元説明会を実施したい。